

Cochlear™

# ワイヤレスアクセサリ

取扱説明書 (Nucleus® 6 システム装用者用)

*Hear now. And always*



**Cochlear™**

## 記号



### アドバイス

重要な情報またはアドバイスです。

---



### ヒント

効率的にお使いいただくためのヒントです。

---



### 注意

安全かつ有効にお使いいただくための注意事項です。  
機器が破損する恐れがあります。

---



### 警告

安全上の問題、または重篤な有害反応が起こる可能性があります。  
人体に有害となる恐れがあります。

---

本書では、Cochlear™(コクレア®) ワイヤレスアクセサリを以下の人工内耳システムの構成部品と組み合わせて使用方法について記載しています。

- Cochlear Nucleus® (コクレア・ニュークレアス) CP910 および CP920 サウンドプロセッサ
- Nucleus CR210 リモートコントロール
- Nucleus CR230 リモートアシスタント

本書および本書の中で言及する他の取扱説明書をよく読み、これらのアクセサリを、お使いの人工内耳システムとともに使用方法についてご確認ください。

# 目次

本書について .....	5
ワイヤレスアクセサリ .....	5
2つの手順—ペア設定およびストリーミング .....	6
ミニマイクロホン .....	7
動作特性 .....	7
ミニマイクロホンの充電 .....	8
手順 1: ミニマイクロホンのペア設定 .....	9
手順 2: ミニマイクロホンから音声をストリーミングする .....	11
テレビストリーマー .....	15
動作特性 .....	15
手順 1: テレビストリーマーのペア設定 .....	16
手順 2: テレビストリーマーから音声をストリーミングする .....	18
フォンクリップ .....	22
動作特性 .....	22
フォンクリップの充電 .....	23
手順 1: フォンクリップのペア設定 .....	24
手順 2: フォンクリップの使用 .....	26
複数のアクセサリの使用 .....	28
アクセサリのミキシング比率の変更 .....	29
ワイヤレスマイクロホンの性能確認 .....	30
お手入れとメンテナンス .....	32
ミニマイクロホンのお手入れ .....	32
テレビストリーマーのお手入れ .....	32
フォンクリップのお手入れ .....	32
内蔵電池のお手入れ .....	33
充電器のお手入れ .....	33
保証 .....	34
認証 .....	34
注意 .....	35



# 本書について

本書は、Nucleus® 6 システムを使用する Cochlear™ (コクレア®) 人工内耳装用者を対象としています。本書は、サウンドプロセッサ取扱説明書およびリモートアシスタント取扱説明書とともにご使用ください。

また、本書は、ワイヤレスアクセサリに同梱された取扱説明書と併せて使用する必要があります。

本書では、Cochlear™ ワイヤレスアクセサリの設定および使用方法について説明します。新しいアクセサリの設定を行う前に、次のセクション「ワイヤレスアクセサリ」をお読みください。各アクセサリの機能に加えて、アクセサリの初期設定に必要な 2 つの主な手順を説明しています。

## ワイヤレスアクセサリ

Cochlear ワイヤレスアクセサリは、接続機器の音声をサウンドプロセッサにワイヤレス送信することにより、Cochlear Nucleus 6 システムの性能を向上させます。

- **Cochlear Wireless Mini Microphone (コクレア ワイヤレスミニマイクロホン)** を使用すると、音源から少し離れていたり、騒がしい環境でも聞こえやすくなります。
- **Cochlear Wireless TV Streamer (コクレア ワイヤレス テレビストリーマー)** は、テレビ、サウンドシステム、またはコンピュータからの音声を直接送信します。
- **Cochlear Wireless Phone Clip (コクレア ワイヤレス フォンクリップ)** は、携帯電話、音楽プレーヤー、ナビゲーションシステムなどの Bluetooth® 機器にワイヤレスに接続します。

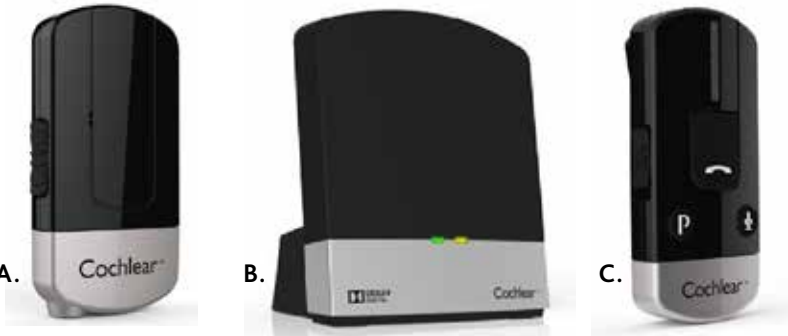


図 1: (A) ミニマイクロホン (B) テレビストリーマー (C) フォンクリップ

## 2つの手順—ペア設定およびストリーミング

初めてワイヤレスアクセサリを使用する場合は、以下の2つの手順を行ってください。

### 手順 1: ペア設定

ワイヤレスアクセサリとサウンドプロセッサ (両側装用の場合は2台とも) をペア設定して、通信できるようにします (この設定は初回のみ必要です)。

### 手順 2: ストリーミング

ストリーミングを使用すると、ワイヤレスアクセサリからサウンドプロセッサに音声を送信できます。

各ワイヤレスアクセサリのペア設定とストリーミング方法については、以下の各セクションで説明します。

- 「ミニマイクロホン」7 ページ
- 「テレビストリーマー」15 ページ
- 「フォンクリップ」22 ページ

#### アドバイス

サウンドプロセッサのボタンが音量と感度を調整するようにプログラムされている場合 (アドバンスモード) は、ミニマイクロホンやテレビストリーマーのストリーミングの手順でオプション 3 (サウンドプロセッサ) を使用することはできません。Nucleus CR230 または Nucleus CR210 を使用してストリーミングする方法である、オプション 1 またはオプション 2 を使用する必要があります。



# ミニマイクロホン

Cochlear Wireless Mini Microphone (ミニマイクロホン) を使用すると、音源から離れていたり (最大 7 メートルの範囲)、騒がしい環境でも聞こえやすくなります。例えば、以下のことが可能です。

- 会議やレストランにて、または車や公共交通機関で移動中に、ミニマイクロホンを話し手に装着するか、話し手の近くに設置する。
- テレビまたはラジオの近くにミニマイクロホンを置き、離れたところに座って聞く。
- MP3 プレーヤー、コンピュータまたはテレビなどのオーディオ機器にミニマイクロホンをケーブルで接続して、近くにいる時にストリーミングする。



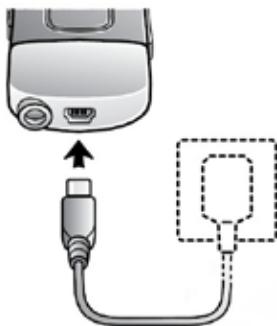
図 2: ミニマイクロホン

## 動作特性

特性	値/範囲
動作範囲	最大 7 メートル
フル充電時の最長音声通信可能時間	約 8.5 時間
接続が失われた場合の再接続可能時間	5 分間

## ミニマイクロホンの充電

1. ミニ USB 充電ケーブルを ミニマイクロホンの底部に差し込みます。
2. 付属のアダプタを使用して、ケーブルのもう片方の端を電源コンセントに差し込みます。



3. 充電中は、LED ランプが赤色に点灯します。フル充電されると、LED ランプが緑色に点灯し、2 秒間隔で赤色に点滅します。
4. ミニマイクロホンを初めて充電する場合は、ランプがフル充電を示していても、3 時間以上充電してください。

### アドバイス

使用していない時は、ミニマイクロホンの電源を切り、充電しておいてください。電池駆動時間(音声通信可能時間)は 8.5 時間です。



## 手順 1: ミニマイクロホンのペア設定

最初に、ミニマイクロホンとサウンドプロセッサをペア設定して、通信できるようにします。

ミニマイクロホンをペア設定するには、以下の手順を行ってください。

1. 最初に、サウンドプロセッサを耳から取り外します。
2. サウンドプロセッサの電源を**切ります**。
3. ミニマイクロホンの電源を**入れます**。電源が入ると、ミニマイクロホン上部の LED ランプが緑色に点滅します。



4. ミニマイクロホンの底部から銀色のカバーを取り外します。
5. ペンを使用して、赤色のペア設定ボタンを 1 回押します。



ミニマイクロホン 上部の LED ランプが 20 秒間オレンジ色に点滅します。ミニマイクロホンとサウンドプロセッサをペア設定するには、この 20 秒間にサウンドプロセッサの電源を入れてください。（両側装用の場合は、2台とも。）

6. サウンドプロセッサの電源を**入れます**。正常にペア設定されると、青色の表示ランプが短く点滅します。



#### アドバイス

ペア設定後にサウンドプロセッサを装着しないと、ランプの青色の点滅がオレンジ色に変わり、送信コイルが頭部から外れていることを警告します。



7. ミニマイクロホンの底部に銀色のカバーを戻します。
8. これで、サウンドプロセッサを耳に再び装着することができます。

ミニマイクロホンの音声を聞くには、音声をストリーミングする必要があります。

手順 2: 「ミニマイクロホン から音声をストリーミングする」に進みます。

## 手順 2: ミニマイクロホン から音声をストリーミングする

ミニマイクロホン から音声をストリーミングするには、以下の 3 つの方法があります。

- オプション 1: Nucleus CR230 リモートアシスタントを使用する
- オプション 2: Nucleus CR210 リモートコントロールを使用する
- オプション 3: サウンドプロセッサを使用する

### ヒント

使いやすく、より多くの機能を利用できるので、CR230 リモートアシスタントを使用して、ストリーミングすることをお勧めします。

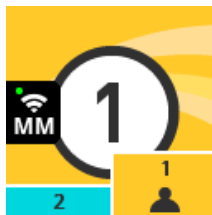


### オプション 1: Nucleus CR230 リモートアシスタントを使用する

1. サウンドプロセッサの電源を**入れます**。(両側装用の場合は、2台とも。)
2. CR230 リモートアシスタントの電源を**入れます**。ホーム画面が表示されます。
3. ミニマイクロホン の電源を**入れます**。
4. CR230 でストリーミングを開始するには、以下の 2 つの方法があります。

- **方法 1: テレコイルボタンを長押しします** (約 3 秒間)。

以下のように ミニマイクロホン のアイコンが**ホーム**画面に表示されます。



- **方法 2:** ホーム画面が表示されている状態から、[ストリーム] 選択画面が表示されるまで右矢印ボタンを押します。使用するチャンネルまでリストを下にスクロールして [OK] を押します。



## ミニマイクロホンのテスト

ミニマイクロホン を軽くたたか息を吹きかけて、ストリーミングしているかどうかテストします。最初に何も聞こえない場合は、ミニマイクロホンの音量を上げてください。

## 音量の調整

音量を変更するには、ミニマイクロホンの音量調整を使用します。



5. ストリーミングを停止するには、以下のいずれかを実行します。
  - **テレコイルボタンを短く押す**、または
  - [ストリーム] 選択画面で [オフ] を選択してから、[OK] を押します。



## ミニマイクロホンの電源を切る

使用しない時は、ミニマイクロホンの電源を切ります。必ず**ストリーミングを停止**してから、ミニマイクロホンの電源を切ってください。

## オプション 2: Nucleus CR210 リモートコントロールを使用する

1. サウンドプロセッサの電源を**入れます**。(両側装用の場合は、2台とも。)
2. CR210 リモートコントロールの電源を**入れます**。
3. ミニマイクロホン の電源を**入れます**。
4. **テレコイルボタンを長押しします** (約 3 秒間)。



5. ストリーミングを停止するには、**テレコイルボタンを短く押します**。

ミニマイクロホンのテスト、音量の調整、電源を切る際の注意については、12 ページを参照してください。

### オプション 3: サウンドプロセッサを使用する

1. サウンドプロセッサの電源を入れます。
2. ミニマイクロホンの電源を入れます。
3. サウンドプロセッサの **アップボタンを長押し**します (約 3 秒間)。



4. サウンドプロセッサのランプが青色に点滅し、ストリーミング中であることを示します。
5. ストリーミングを停止するには、**アップボタンを短く押し**ます。

ミニマイクロホンのテスト、音量の調整、電源を切る際の注意については、12 ページを参照してください。



#### 注意

ワイヤレスアクセサリの使用に関連する注意事項については、35 ページの「注意」を参照してください。

# テレビストリーマー

Cochlear Wireless TV Streamer (テレビストリーマー) は、テレビ、サウンドシステム、またはコンピュータからのステレオ音声をサウンドプロセッサに直接ストリーミングします。



図 3: テレビストリーマー

## 動作特性

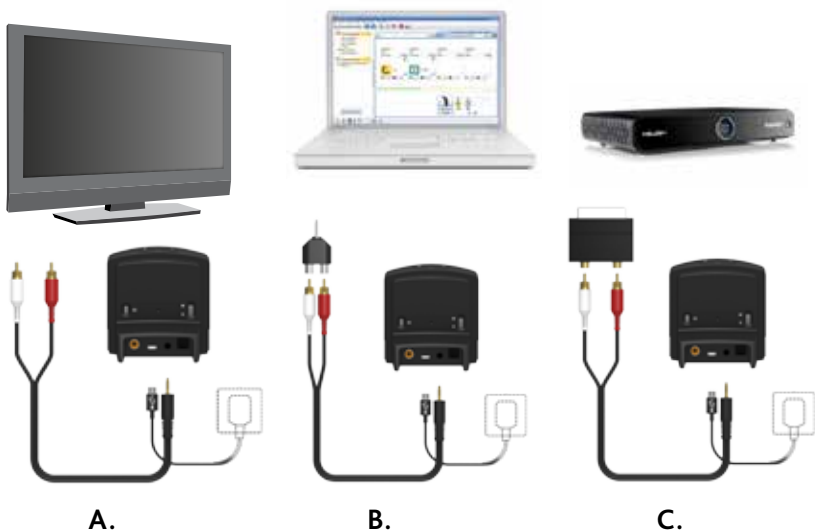
特性	値/範囲
動作範囲	最大7メートル
接続が失われた場合の再接続可能時間	5分間

## 手順 1: テレビストリーマー のペア設定

最初に、テレビストリーマー とサウンドプロセッサをペア設定して、通信できるようにします。(両側装用の場合は、2台とも。)

テレビストリーマー をペア設定するには、以下の手順を行ってください。

1. 電源ケーブルを テレビストリーマー のマイクロ USB ソケットに差し込み、コンセントに接続します。
2. オーディオケーブルを テレビストリーマー のミニジャックオーディオ入力ソケットに差し込み、オーディオ機器に接続します。



- 一般的な接続先は以下のとおりです。
- (A) テレビまたはステレオ  
(B) コンピュータのヘッドホン端子  
(C) セットトップボックス(SCART 端子)

3. テレビストリーマー の電源ランプが緑色に点灯します。
4. サウンドプロセッサを耳から取り外します。

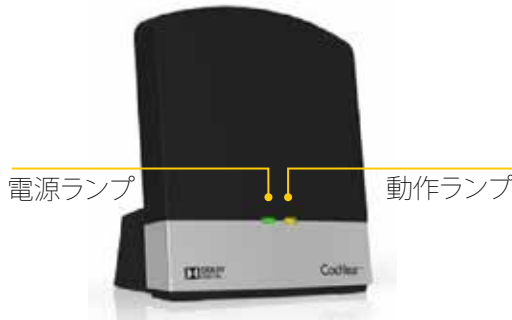
### アドバイス

テレビまたはオーディオ機器のヘッドホンソケットに接続する場合など、接続方法によっては装用者以外に音声が聞こえなくなる場合があります。

装用者と周囲の人が同時にテレビの音を聞きたい時は、テレビの取扱説明書を参照して設定方法を確認してください。

- サウンドプロセッサの電源を**切ります**。(両側装用の場合は、2台とも。)
- テレビストリーマー のペア設定ボタンを 1 回押します。

動作ランプが 20 秒間オレンジ色に点滅します。テレビストリーマー とペア設定するには、この 20 秒間にサウンドプロセッサの電源を入れてください。



- サウンドプロセッサの電源を**入れます**。正常にペア設定されると、青色の表示ランプが短く点滅します。



- これで、サウンドプロセッサを耳に再び装着することができます。

#### アドバイス

ペア設定後にサウンドプロセッサを装着しないと、ランプの青色の点滅がオレンジ色に変わり、送信コイルが頭部から外れていることを警告します。

テレビストリーマー を経由して音声を聞くには、音声をストリーミングする必要があります。

手順2: 「テレビストリーマー から音声をストリーミングする」に進みます。

## 手順2: テレビストリーマー から音声をストリーミングする

テレビストリーマー から音声をストリーミングするには、以下の3つの方法があります。

- オプション 1: Nucleus CR230 リモートアシスタントを使用する
- オプション 2: Nucleus CR210 リモートコントロールを使用する
- オプション 3: サウンドプロセッサを使用する。

### オプション 1: Nucleus CR230 リモートアシスタントを使用する

1. オーディオ機器 (コンピュータ、ステレオ、テレビなど) の電源が**入っている**ことを確認します。
2. サウンドプロセッサの電源を**入れません**。(両側装用の場合は、2台とも。)
3. CR230 リモートアシスタントの電源を**入れます**。ホーム画面が表示されます。
4. テレビストリーマー の電源を入れます。
5. ストリーミングを開始するには、以下の2つの方法があります。
  - **方法 1: テレコイルボタンを長押しします** (約 3 秒間)。これにより、チャンネル 1 から音声がストリーミングされます。

#### ヒント

使いやすく、より多くの機能を利用できるので、CR230 リモートアシスタントを使用して、ストリーミングすることをお勧めします。

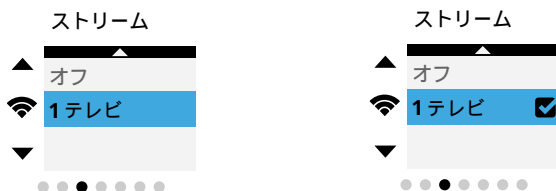


テレコイル  
ボタン

テレビストリーマー のアイコンが**ホーム**画面に表示されます。



- 方法2:** ホーム画面が表示されている状態から、**[ストリーム]** 選択画面が表示されるまで右矢印ボタンを押します。使用するチャンネルまでリストを下にスクロールして **[OK]** を押します。



上げる | 下げる | 音量調整



- ストリーミングを停止するには、以下のいずれかを実行します。
  - テレコイルボタンを短く押す、または**
  - [ストリーム] 選択画面で [オフ] を選択します。**

### ヒント

音量を変更するには、テレビストリーマーの音量調整を使用します。



## オプション 2: Nucleus CR210 リモートコントロールを使用する

1. サウンドプロセッサの電源を入れます。(両側装用の場合は、2台とも。)
2. CR210 リモートコントロールの電源を入れます。
3. テレビストリーマー の電源を入れます。
4. **テレコイルボタンを長押しします** (約 3 秒間)。



5. ストリーミングを停止するには、**テレコイルボタンを短く押し**ます。

## オプション 3: サウンドプロセッサを使用する

1. サウンドプロセッサの電源を**入れます**。(両側装用の場合は、2台とも。)
2. テレビストリーマー の電源を**入れます**。
3. サウンドプロセッサの **アップボタンを長押しします** (約 3 秒間)。サウンドプロセッサのランプが青色に点滅し、音声はストリーミングされていることを示します。



4. ストリーミングを停止するには、**アップボタンを短く押します**。

## 遅延調整可能モード

まれに、以下の間にずれが生じる場合があります。

- サウンドプロセッサにストリーミングされた音声と、テレビのスピーカから出力される音声 (エコー)、または
- ストリーミングされた音声とテレビ画像 (リップシンク)。

音声が遅延している場合、テレビストリーマー で調整することができます。詳細については、テレビストリーマー に同梱された取扱説明書をご参照ください。



### 注意

ワイヤレスアクセサリの使用に関連する注意事項については、35 ページの「注意」を参照してください。

# フォンクリップ

Cochlear Wireless Phone Clip (フォンクリップ) を衣服に装着すると、Bluetooth 機器にワイヤレスでアクセスし、以下のような使い方ができます。

- 携帯電話でハンズフリー通話をする
- Bluetooth 対応のナビゲーションシステムを聞く
- Bluetooth 対応機器から音楽をストリーミングする



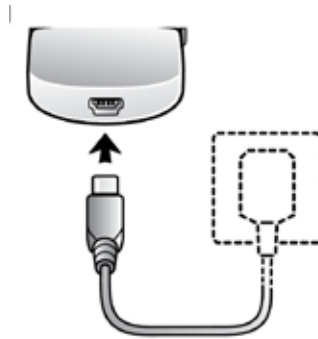
図 4: フォンクリップ

## 動作特性

特性	値/範囲
動作範囲 (サウンドプロセッサと フォンクリップ 間)	最大 3 メートル
動作範囲 (電話と フォンクリップ 間)	最大 7 メートル
フル充電時の最長音声通信可能時間	約 6 時間
接続が失われた場合の再接続可能時間	30 秒間

## フォンクリップの充電

1. マイクロ USB 充電ケーブルをフォンクリップの底部に差し込みます。
2. 付属のアダプタを使用して、ケーブルのもう片方の端を電源コンセントに差し込みます。



3. 充電中は、LED ランプが赤色に点灯します。フル充電されると、LED ランプが緑色に点灯し、2 秒間隔で赤色に点滅します。
4. フォンクリップを初めて充電する場合は、ランプがフル充電を示していても、3 時間以上充電してください。

### アドバイス

使用しない場合は、フォンクリップの電源を切り、充電しておくようにしてください。フォンクリップの公称音声通信可能時間は 6 時間（スタンバイ状態で 80 時間）です。



音声ストリーミングを行っている時に着信があると、電話が優先されます。電話に応答するか拒否するか、どちらかの操作をしてください。

## 手順 1: フォンクリップ のペア設定

まず、フォンクリップ とサウンドプロセッサの間で通信ができるようにするためのペア設定をします。

**手順 1a: 以下の方法で、サウンドプロセッサを フォンクリップ とペア設定します。**

1. サウンドプロセッサを耳から取り外します。
2. サウンドプロセッサの電源を**切ります**。(両側装用の場合は、2台とも。)
3. フォンクリップ の電源を**入れます**。電源が入ると、フォンクリップ 上部の LED ランプが緑色に点滅します。

表示ランプ  
(LED)

オン ↓



4. フォンクリップ の底部にある銀色のカバーを下にスライドさせて取り外します。
5. ペンを使用して、フォンクリップ の裏面にある白色のペア設定ボタンを押します。20 秒以内にサウンドプロセッサ (両側装用の場合は、2台とも) の電源を入れると、フォンクリップ とサウンドプロセッサがペア設定されます。

### アドバイス

互換性のある GNReSound 補聴器を片耳に装着し、もう一方に人工内耳を装着する場合は、フォンクリップ のペア設定可能時間内に、**最初に補聴器をペア設定してから、人工内耳をペア設定**します。

サウンドプロセッサ  
ペア設定ボタン



- サウンドプロセッサの電源を**入れます**。正常にペア設定されると、青色の表示ランプが短く点滅します。



- これで、サウンドプロセッサを耳に再び装着することができます。

### アドバイス

ペア設定後にサウンドプロセッサを装着しないと、ランプの青色の点滅がオレンジ色に変わり、送信コイルが頭部から外れていることを警告します。



### 手順 1b: 次に、以下の方法で、携帯電話をフォンクリップとペア設定します。

- 携帯電話の Bluetooth をオンにします。
- フォンクリップの背面にある青色のペア設定ボタンを押します。フォンクリップ上部の LED が 2 分間青色に点灯します。このランプが青色の間に、携帯電話とフォンクリップをペア設定してください。



携帯電話ペア  
設定ボタン

- 携帯電話で、Bluetooth 機器のリストから [**Hearing Aid Phone** (補聴器対応電話)] を選択します。
- フォンクリップの底部に銀色のカバーを戻します。

これでフォンクリップを使用できます。手順 2: 「フォンクリップの使用」に進みます。

## 手順 2: フォンクリップ の使用

電話をいつものように操作して、発信、応答、通話終了が行えます。唯一の違いは、音声サウンドプロセッサに自動的にストリーミングされるということです。

### 通話について

- **着信に応答する: 電話を受ける/切る** ボタンを押します。
- **着信を拒否する: 電話を受ける/切る** ボタンを 2 回押します。
- **電話をかける: 電話を受ける/切る** ボタンを長押し(約 3 秒間) します。音声コマンドを使用して電話をかけます。
- **電話を切る: 電話を受ける/切る** ボタンを押します。



電話を  
受ける/切る  
ボタン

### アドバイス

より詳細な機能については、フォンクリップに同梱されている取扱説明書をご参照ください。

### ヒント

性能を最適に保つために、フォンクリップは口元から 30 cm 以内の場所に垂直方向に装着してください。フォンクリップには、回転クリップが付属しているため、垂直方向に容易に回転させることができます。

### アドバイス

SMS (ショートメッセージ) 受信時など、フォンクリップが音声信号を受信して、アラーム音が聞こえることがあります。これは、電話でマナーモードを使用するか、着信の通知をオフにすることで、無効にできる場合があります。詳細については、お使いの電話の取扱説明書をご参照ください。

フォンクリップから音声をストリーミングしている時は、CR230 リモートアシスタントの**ホーム**画面に Bluetooth アイコンが表示されます。




**Bluetooth 対応機器から音楽をストリーミングする方法は、以下のとおりです。**


1. Bluetooth を使用して、機器 (携帯電話またはコンピュータなど) をフォンクリップ にワイヤレス接続 (ペア設定) します。
2. 機器で音楽を再生します。  
サウンドプロセッサで音声が聞こえます。
3. ストリーミングを停止するには、機器で音楽の再生を停止します。



**ヒント**  
音量を変更するには、フォンクリップの音量調整を使用します。



**注意**  
ワイヤレスアクセサリの使用に関連する注意事項については、35 ページの「注意」を参照してください。



# 複数のアクセサリの使用

サウンドプロセッサは、複数のワイヤレスアクセサリとペア設定できます。各アクセサリに専用の「チャンネル」を割り当てる必要があります。

本書の指示に従って、既にワイヤレスアクセサリをペア設定している場合は、それがチャンネル 1 になります。

他のアクセサリにペア設定するには、空きチャンネルを選択してください。

サウンドプロセッサには、ミニマイクホン や テレビストリーマー とペア設定できるチャンネルが 3 つあります。

**ミニマイクホン と テレビストリーマー は、以下のように設定してください。**

ミニマイクホン または テレビストリーマー とペア設定する場合、空きチャンネルを選択します。(または、新しくペア設定するアクセサリを使用中のチャンネルに割り当て直します。)

サウンドプロセッサをワイヤレスアクセサリとペア設定していない場合は、ワイヤレスアクセサリのペア設定ボタンを 1 回押して、チャンネル 1 にペア設定します。

- 2 回押すと、チャンネル 2 に設定されます。
- 3 回押すと、チャンネル 3 に設定されます。

## ヒント

CR230 リモートアシスタントの [ストリーム] 選択画面を使用して、割り当て済みのチャンネルを表示します。



## アドバイス

フックリップは専用チャンネルを使用しているため、ペア設定時にチャンネルを選択する必要はなく、[ストリーム] 選択画面には表示されません。



以下のスクリーンショットでは、リモートアシスタントの [ストリーム] 選択画面で、ミニマイクホン がチャンネル 1 に、テレビストリーマー がチャンネル 2 にペア設定されています。



# アクセサリのミキシング比率の変更

## アドバイス

この操作は、CR230 リモートアシスタントを**アドバンスモード**で使用している場合にのみ行えます。

ワイヤレスアクセサリとサウンドプロセッサマイクロホンの音声のミキシング比率を調整するには、以下の手順を行ってください。

1. CR230 リモートアシスタントに**ホーム**画面が表示されている状態から、**[設定]**画面が表示されるまで右矢印ボタンを押し、**[OK]** ボタンを押します。
2. **[アクセサリミキシング比率]**画面が表示されるまで右矢印ボタンを押します。**[OK]** を押します。

アクセサリ|ミキシング比率



3. **上または下矢印ボタン**を押してミキシング比率を変更します。

詳細については、CR230 リモートアシスタントの取扱説明書をご参照ください。

# ワイヤレスマイクロホンの性能確認

サウンドプロセッサマイクロホンから受信した信号レベルと、ミニマイクロホン (MM) や FM 機器などのリモートマイクロホンから受信した信号を測定して比較することができます。

この測定は以下の場合に役立ちます。

- FM システムを設定する
- リモートマイクロホンが意図した効果を発揮していることを確認する

CR230 リモートアシスタントに、[アドバンテージ] 画面を表示するには、以下の手順を行ってください。

## アドバイス

以下の手順を行う前に、周囲に雑音がない静かな場所を選択することが重要です。



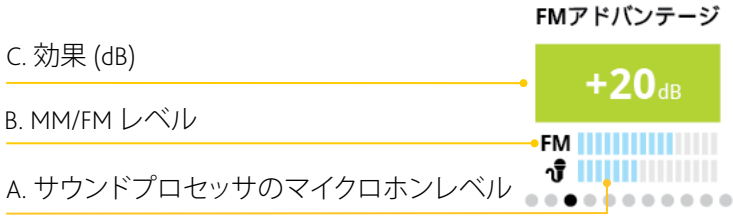
1. CR230 リモートアシスタントに**ホーム**画面が表示されている状態から、**[設定]** 画面が表示されるまで右矢印ボタンを押し、**[OK]** ボタンを押します。



2. **[MM/FM アドバンテージ]** 画面が表示されるまで右矢印ボタンを押します。**[OK]** を押します。



[MM/FM アドバンテージ] 画面には、3つの要素があります。



- 下部には**サウンドプロセッサマイクロホンレベル**を示す棒グラフが表示されます。
- 中央には **MM/FM**レベルを示す棒グラフが表示されます。これが、ワイヤレスアクセサリのサウンドレベルです。
- リモートマイクロホンからの入力とサウンドプロセッサのマイクロホンからの入力の差をデシベル (dB) で測定します。この数値は、装用者がリモートマイクロホンから得られる聴こえの**効果 (dB 単位)**を示しています。数値がマイナスの値になる場合、リモートマイクロホンの音量を調整する必要があるか、測定中の背景雑音が大きすぎることを考えられます。

# お手入れとメンテナンス

## ミニマイクロホンのお手入れ

- Cochlear Mini Microphone (ミニマイクロホン)のお手入れには、湿った布を使用してください。家庭用洗剤(粉状の洗濯用洗剤、石けんなど)やアルコールは使用しないでください。
- Cochlear Mini Microphone (ミニマイクロホン)を使用していない時は、電源を切り、安全な場所に保管してください。
- 過度の湿気(入浴、水泳)および熱(暖房装置、車のダッシュボード)に Cochlear Mini Microphone (ミニマイクロホン)をさらさないようにしてください。
- 過度な衝撃や振動を与えないでください。
- マイクロホンと充電用のソケットにごみや汚れが付着しないようにしてください。

## テレビストリーマーのお手入れ

- Cochlear TV Streamer (テレビストリーマー)のお手入れには、湿った布を使用してください。家庭用洗剤(粉状の洗濯用洗剤、石けんなど)やアルコールは使用しないでください。
- テレビストリーマーを長期間使用しない場合は、コンセントから電源プラグを抜いてください。

## フォンクリップのお手入れ

- Cochlear Phone Clip (フォンクリップ)のお手入れには、湿った布を使用してください。家庭用洗剤(粉状の洗濯用洗剤、石けんなど)やアルコールは使用しないでください。
- Cochlear Phone Clip (フォンクリップ)を使用していない時は、電源を切り、安全な場所に保管してください。
- 過度の湿気(入浴、水泳)および熱(暖房装置、車のダッシュボード)に Cochlear Phone Clip (フォンクリップ)をさらさないようにしてください。
- 過度な衝撃や振動を与えないでください。マイクロホンと充電ケーブルのソケットにごみや汚れが付着しないようにしてください。

## 内蔵電池のお手入れ

フォンクリップと ミニマイクロホン は充電電池で動作します。

- 新しい充電電池は、完全な充放電サイクルを 2～3 回繰り返すと、最適に機能するようになります。
- 充電電池は数百回充放電できますが、最終的には消耗して充電できなくなります。
- 充電ケーブルを使用していない時は、電源コンセントと製品から充電ケーブルを抜いてください。
- フル充電した充電電池を使用せずに放置すると、時間とともに放電します。
- 製品を暑い場所に放置すると、充電電池の容量と寿命が低下します。
- 製品に低温の電池を入れると、フル充電されていても、一時的に動作しない場合があります。特に氷点下では、電池の性能が著しく低下します。

## 充電器のお手入れ

製品に充電ケーブルが付属している場合は、以下のことに注意してください。

- 充電する際は、付属の AC アダプタ以外のものを使用しないでください。他の充電器を使用すると、製品が破損する可能性があります。他の充電器を使用した場合、認証および保証が無効になることがあります。
- 認証済みアクセサリが使用可能かどうかについては、聴覚医療専門家にご確認ください。
- 製品の充電は、記載された指示に従ってください。

# 保証

Cochlear ワイヤレスアクセサリの保証期間は 1 年です。

標準保証条件および制限の詳細については、Nucleus 保証書を参照してください。

# 認証

Cochlear Bone Anchored Solutions AB (スウェーデン、メンリッゲ) は、Cochlear ワイヤレスアクセサリの法的製造業者です。

Cochlear ワイヤレスアクセサリは、Radio and Terminal Telecommunication Equipment (無線および電気通信端末機器) に関する EC 指令 1999/5/EC に記載されている基本要件を、Annex III (付属文書 III) の適合性評価手順に従って満たしています



コクレア社では、Cochlear ワイヤレスアクセサリの Nucleus 6 システムとの使用について、テストと検証を行っています。

# 注意



## 警告

各製品に関する警告と使用上の注意については、ワイヤレスアクセサリに同梱されている取扱説明書を参照してください。

- ワイヤレス機能を有効にすると、サウンドプロセッサはデジタル方式で符号化された低出力の信号を送信して、ワイヤレスアクセサリと通信します。ごくまれに、周囲の電子機器が影響を受ける可能性があります。その場合は、影響を受けた電子機器からサウンドプロセッサを離してください。
- ワイヤレス機能の使用時に機器が電磁干渉の影響を受ける場合は、干渉源から離してください。
- Cochlear ワイヤレスアクセサリは無線 (RF) 送信機を搭載しており、2.4 ~ 2.48 GHz の範囲で動作します。高周波放出が禁止されているエリアでは、ワイヤレス機能をオフにしてください。
- MRI (磁気共鳴画像) 検査を受ける場合は、「警告と予防措置の手引き」の MRI セクションに記載されている MRI の安全情報を参照してください。この手引きは、[www.cochlear.com/warnings](http://www.cochlear.com/warnings) または最寄りの Cochlear オフィス (連絡先は本書の裏表紙に記載) で入手できます。

# Cochlear™

Cochlear ワイヤレスアクセサリ:

**Cochlear Bone Anchored Solutions AB** Konstruktionsvägen 14, SE - 435 33 Mölnlycke, Sweden  
Tel: +46 31 335 1461 Fax: +46 31 335 1460

Nucleus 6 システム:

**Cochlear Ltd** (ABN 96 002 618 073) 1 University Avenue, Macquarie University, NSW 2109, Australia  
Tel: +61 2 9428 6555 Fax: +61 2 9428 6352

**Cochlear Ltd** (ABN 96 002 618 073) 14 Mars Road, Lane Cove, NSW 2066, Australia  
Tel: +61 2 9428 6555 Fax: +61 2 9428 6352

世界各地の事業所:

**Cochlear Americas** 13059 E Peakview Avenue, Centennial, CO 80111, USA  
Tel: +1 303 790 9010 Fax: +1 303 792 9025

**Cochlear Canada Inc** 2500-120 Adelaide Street West, Toronto, ON M5H 1T1, Canada  
Tel: +1 416 972 5082 Fax: +1 416 972 5083

**Cochlear AG** EMEA Headquarters, Peter Merian-Weg 4, 4052 Basel, Switzerland  
Tel: +41 61 205 0404 Fax: +41 61 205 0405

**Cochlear Deutschland GmbH & Co. KG** Karl-Wiechert-Allee 76A, 30625 Hannover, Germany  
Tel: +49 511 542 770 Fax: +49 511 542 7770

**Cochlear Europe Ltd** 6 Dashwood Lang Road, Bourne Business Park, Addlestone, Surrey KT15 2HJ, United Kingdom  
Tel: +44 1932 26 3400 Fax: +44 1932 26 3426

**Cochlear Benelux NV** Schaliënhoedreef 20 i, B-2800 Mechelen, Belgium  
Tel: +32 15 79 55 11 Fax: +32 15 79 55 70

**Cochlear France S.A.S.** Route de l'Orme aux Merisiers, Z.I. Les Algorithmes – Bât. Homère, 91190 Saint-Aubin, France  
Tel: +33 805 200 016 Fax: +33 160 196 499

**Cochlear Italia S.r.l.** Via Larga 33, 40138 Bologna, Italy  
Tel: +39 051 601 53 11 Fax: +39 051 39 20 62

**Cochlear Nordic AB** Konstruktionsvägen 14, 435 33 Mölnlycke, Sweden  
Tel: +46 31 335 14 61 Fax: +46 31 335 14 60

**Cochlear Tibbi Cihazlar ve Sağlık Hizmetleri Ltd. Şti.**  
Çubuklu Mah. Boğaziçi Cad., Boğaziçi Plaza No: 6/1, Kavacak, TR-34805 Beykoz-Istanbul, Turkey  
Tel: +90 216 538 5900 Fax: +90 216 538 5919

**Cochlear (HK) Limited** Room 1204, 12/F, CRE Building, No 303 Hennessy Road, Wanchai, Hong Kong SAR  
Tel: +852 2530 5773 Fax: +852 2530 5183

**Cochlear Korea Ltd** 1st floor, Cheongwon building, 828-5, Yuksam dong, Kangnam gu, Seoul, Korea  
Tel: +82 2 533 4663 Fax: +82 2 533 8408

**Cochlear Limited (Singapore Branch)** 6 Sin Ming Road, #01-16 Sin Ming Plaza Tower 2, Singapore 575585  
Tel: +65 6553 3814 Fax: +65 6451 4105

**Cochlear Medical Device (Beijing) Co Ltd**  
Unit 2208 Gemdale Tower B, 91 Jianguo Road, Chaoyang District, Beijing 100022, P.R. China  
Tel: +86 10 5909 7800 Fax: +86 10 5909 7900

**Cochlear Medical Device Company India Pvt. Ltd.**  
Ground Floor, Platina Building, Plot No C-59, G-Block, Bandra Kurla Complex, Bandra (E), Mumbai – 400 051, India  
Tel: +91 22 6112 1111 Fax: +91 22 6112 1100

**株式会社日本コクレア (Nihon Cochlear Co Ltd)** 〒113-0033 東京都文京区本郷2-3-7 お茶の水元町ビル  
Tel: +81 3 3817 0241 Fax: +81 3 3817 0245

**Cochlear Middle East FZ LLC**  
Dubai Healthcare City, Al Razi Building 64, Block A, Ground Floor, Offices IR1 and IR2, Dubai, United Arab Emirates  
Tel: +971 4 818 4400 Fax: +971 4 361 8925

**Cochlear Latinoamérica S.A.**  
International Business Park, Building 3835, Office 103, Panama Pacifico, Panama  
Tel: +507 830 6220 Fax: +507 830 6218

**Cochlear NZ Limited**  
Level 4, Takapuna Towers, 19-21 Como St, Takapuna, Auckland 0622, New Zealand  
Tel: + 64 9 914 1983 Fax: +61 2 8002 2800

**www.cochlear.com**

ACE, Advance Off-Stylet, AOS, AutoNRT, Autosensitivity, Beam, Button, Carina, Clininet, Cochlear, コクレア、Codacs, Contour, Contour Advance, Custom Sound, ESPrit, Freedom, 「Hear now. And always」、Hybrid, inHear, Invisible Hearing, MET, MP3000, myCochlear, NRT, Nucleus, 中国語表記の Nucleus, Off-Stylet, SmartSound, Softip, SPrint, 楕円形のロゴ, Whisper は、Cochlear Limited の商標または登録商標です。Ardium, Baha, Baha Divino, Baha Intenso, Baha PureSound, Baha SoftWear, DermaLock, Vistafix, WindShield は、Cochlear Bone Anchored Solutions AB の商標または登録商標です。Bluetooth は、Bluetooth SIG の登録商標です。© Cochlear Limited 2014

*Hear now. And always*

544131 ISS1  
Japanese translation of 505203 ISS4 SEP14